

5・6年生

「エカシの森と子馬」



「エカシの森と子馬」



「サンドイッチクラブ」



「おいで、アラスカ！」



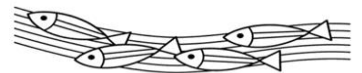
「オランウータンに会いたい」

子馬のポンコは長老の木・エカシと不思議なカメシたちと森でくらしている。季節の移ろいとやがて大人になるポンコをみずみずしく描く。

珠子はダブル塾通いの小学6年。そこで別の学校の成績優秀なヒカルと出会う。性格や生活環境も違う2人が互いを認め成長していく。

転校生のスフェンはバーゲルをからかうイヤな男の子。けれど、昔飼っていた大好きなアラスカがスフェンを介助犬だと知ったバーゲルは・・・。

いまだ謎がいっぱいのオランウータンの生態。食生活、子育て、不思議な習慣、驚きの進化・・・。さあ、未知の世界をのぞいてみよう！



校長先生表彰を行いました。



第1回目は15名の表彰を行いました。おめでとうございます。



お知らせ

「子どもが読書を好きになるヒント BOOK」冊子配布について
ベネッセコーポレーションより読書啓蒙冊子をいただきましたので、全校生徒に配布をいたしました。ご家庭でも読書習慣にお役立てください。



図書館だより

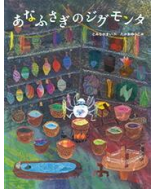
令和3年6月10日発行
日南町立日南小学校

6月

1・2年生

青少年読書感想文全国コンクール お知らせ

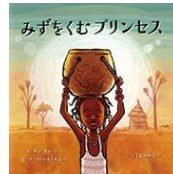
今年も読書感想文の応募が始まりました。事前に読んで応募してみたい人は教えてください。待っています。



「あなふさぎ
ジグモンタ」



「そのときが
くるくる」



「みずをくむ
プリンセス」



「どこから
きたの？おべん
とう」

ジグモのジグモンタは「あなふさぎや」。洋服にあいてしまった穴をふさぐ仕事です。でもこのごろは、みんなに新しいものをほしがったり・・・

みんな、きれいな食べ物はあるよね。おじいちゃんは「今はきれいでも、いつかおいしく食べられるときがくるさ」というけど、ほんとかな？

あさはやくおきて、ずっととおくまで、きょうもわたしは、水をくみにいく。アフリカの水くみをする少女の1日をえがいた絵本です。

みんなの愛情、いっぱいいつまってる！おいしいおべんとうの中身はどこから来て、どうやって食べられるようになったの？わかるかな？



3・4年生



「わたしたちの
カメムシずかん」



「ゆりの木荘の
子どもたち」



「ぼくのあいぼう
はカモノハシ」



「カラスのいい
ぶん」

くさい虫、カメムシ。みんなで学校のまわりを探してみたら、35種類も見つかった。宝石みたいなカメムシもいたよ。どんな図鑑ができるかな？

77年前の「あの子」との約束をはたすため。突然子どもになってしまったゆりの木荘のおばあさんたちの時を超えたファンタジー。

ドイツにすむ男の子ルルスは動物園からにげだしたカモノハシにたのまれ、オーストラリアに帰るのを手伝うことに・・・！ゆかいな冒険物語。

カラスには、毎日の時間割があるって知ってますか？遊びを発明したり、子そだてをがんばったり知れば知るほど、カラスっておもしろい！